



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 中央紙器工業株式会社
 コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務企画部長 (氏名) 前 賢太
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-400-2800

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	9,391	3.0	680	0.4	745	15.3	506	36.0
2018年3月期第3四半期	9,114	6.5	683	9.8	646	20.1	372	29.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 430百万円 (7.0%) 2018年3月期第3四半期 463百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	101.95	
2018年3月期第3四半期	74.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,375	11,514	86.1
2018年3月期	13,378	11,282	84.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 11,514百万円 2018年3月期 11,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		20.00		20.00	40.00
2019年3月期		20.00			
2019年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	1.6	770	7.2	830	2.3	540	11.1	108.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(6)会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	5,225,008 株	2018年3月期	5,225,008 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	258,022 株	2018年3月期	258,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	4,966,986 株	2018年3月期3Q	4,966,986 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 会計方針の変更	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策、各国の地政学的リスクの影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、国内の段ボール需要については、原紙等の材料価格の値上りは続いているものの、全体的には概ね堅調に推移いたしました。

また、当社進出先である中国においては、米中間の貿易摩擦の影響による株安と米国からの輸入の大幅減少などにより、景気は減速傾向にあります。

こうした状況下において、当社グループは、包装提案活動を中心とした拡販に努めるとともに、原紙等材料価格高騰に対して、製品価格改定および生産性向上による原価低減活動に引き続き取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、全体として、自動車関連を中心とした拡販が進み、また、収益改善の効果が顕れていることにより、売上高・利益ともに計画を上回り、結果として増収増益となりました。

以上により、売上高は93億91万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益6億80百万円（前年同四半期比0.4%減）、経常利益7億45百万円（前年同四半期比15.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億6百万円（前年同四半期比36.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高は78億76百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益6億28百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

中国は、売上高は15億14百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント損失18百万円（前年同四半期はセグメント損失1億30百万円）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は103億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億99百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が65百万円増加し、電子記録債権が91百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、133億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が83百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、18億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は115億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億6百万円及び剰余金の配当1億98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率86.1%（前連結会計年度末は84.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,355,173	7,420,860
受取手形及び売掛金	2,124,724	2,143,545
電子記録債権	436,216	527,593
商品及び製品	118,754	139,476
仕掛品	18,092	19,602
原材料及び貯蔵品	50,277	49,344
その他	21,488	23,834
貸倒引当金	△476	△503
流動資産合計	10,124,249	10,323,753
固定資産		
有形固定資産	1,972,672	1,868,796
無形固定資産	45,888	39,640
投資その他の資産	1,235,237	1,142,954
固定資産合計	3,253,798	3,051,392
資産合計	13,378,048	13,375,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,659	750,365
未払法人税等	139,155	56,124
賞与引当金	125,960	56,715
役員賞与引当金	33,840	25,380
その他	361,140	310,164
流動負債合計	1,447,756	1,198,748
固定負債		
役員退職慰労引当金	55,280	64,770
退職給付に係る負債	541,211	546,109
その他	51,693	51,341
固定負債合計	648,185	662,221
負債合計	2,095,941	1,860,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	8,838,443	9,146,150
自己株式	△72,138	△72,138
株主資本合計	10,824,761	11,132,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,189	353,848
為替換算調整勘定	27,155	27,857
その他の包括利益累計額合計	457,344	381,705
純資産合計	11,282,106	11,514,175
負債純資産合計	13,378,048	13,375,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	9,114,968	9,391,041
売上原価	6,853,991	7,055,205
売上総利益	2,260,976	2,335,835
販売費及び一般管理費	1,577,159	1,654,902
営業利益	683,817	680,932
営業外収益		
受取利息	1,665	1,204
受取配当金	26,825	29,157
持分法による投資利益	—	11,789
仕入割引	6,038	7,606
その他	15,698	17,031
営業外収益合計	50,228	66,787
営業外費用		
持分法による投資損失	84,382	—
為替差損	273	1,852
売上割引	256	227
その他	2,701	510
営業外費用合計	87,613	2,591
経常利益	646,431	745,129
特別利益		
固定資産売却益	1,875	—
特別利益合計	1,875	—
税金等調整前四半期純利益	648,307	745,129
法人税、住民税及び事業税	232,796	214,660
法人税等調整額	43,033	24,082
法人税等合計	275,830	238,742
四半期純利益	372,477	506,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	372,477	506,386

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	372,477	506,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,817	△76,341
為替換算調整勘定	△12,740	2,057
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,378	△1,354
その他の包括利益合計	90,699	△75,638
四半期包括利益	463,176	430,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,176	430,748

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,644,780	1,470,187	9,114,968	—	9,114,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,644,780	1,470,187	9,114,968	—	9,114,968
セグメント利益又は損失(△)	743,883	△130,648	613,235	70,581	683,817

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額70,581千円には、セグメント間取引消去77,241千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,876,065	1,514,975	9,391,041	—	9,391,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,876,065	1,514,975	9,391,041	—	9,391,041
セグメント利益又は損失(△)	628,573	△18,139	610,434	70,498	680,932

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額70,498千円には、セグメント間取引消去72,769千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号（金融商品）及びIFRS第15号（顧客との契約から生じる収益）を適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

1. 当該事象の内容

当社は2018年12月13日開催の取締役会において、中国事業の再構築について決議し、近年の日系メーカー撤退等による経営環境の変化に対応すべく、事業の効率化を図り、競争力を強化するために、連結子会社である香港中央紙器工業有限公司が果たしている販売機能を当社の持分法適用関連会社である東莞宏冠包装印刷科技有限公司に統合いたしました。

2. 当該事象発生年月日

2019年1月1日（販売機能統合日）

3. 当該事象の相手先の名称等

①名称	東莞宏冠包装印刷科技有限公司
②所在地	中国広東省東莞市
③代表者の氏名	総経理 王湘江
④資本金	18,000千香港ドル
⑤事業の内容	段ボール製品の製造・販売

4. 販売機能の統合規模

	2018年3月期実績		
	統合事業 (a)	連結実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	1,990,806千円	12,104,168千円	16.4%